

令和2年8月5日

普通期 稲作情報 第3号

J A む な か た
北筑前普及指導センター

◎気象概況及び生育概況（アメダス宗像より）

7月の平均気温は平年に比べ1.1℃低く、降水量は平年比388%と多く、日照時間は54%と少ない状況でした。現在水稻の生育は軟弱徒長気味で遅れています。

◎品種別出穂期の予想

| | | |
|----------------|---------|-----------------|
| ★夢つくし | ：8月11日頃 | （6月9日田植え・平坦地） |
| ★元気つくし（つくしろまん） | ：8月22日頃 | （6月20日田植え・平坦地） |
| ★ヒノヒカリ | ：8月28日頃 | }（6月20日田植え・平坦地） |
| ★ツクシホマシ | ：9月4日頃 | |

1. 水管理（こまめな水管理で、台風・高温対策を！）

- （1）中干し終了後～穂ばらみ期、穂揃い期～落水期までは、間断かん水を行い、根の健全化を図ってください。
- （2）幼穂形成期（穂肥の時期）～出穂期にかけては、水稻が水を最も必要とする時期です。水を切らさないよう十分注意してください。
- （3）台風襲来時は、深水管理をして下さい。台風通過後も、水稻の水分吸収が盛んになるため、数日間は水を切らさないよう注意してください。

2. 病虫害防除

- （1）葉もちの発生は少ない状況ですが、一部のほ場で、夢つくしや元気つくしに発生が見受けられます。発生を確認したほ場では、早急に補正防除を徹底してください。
- （2）海外飛来性害虫のトビイロウンカ、コブノメイガの主な飛来日は7月8日ですが、トビイロウンカの発生は過去10年で最も多く、コブノメイガの発生も非常に多い状況です。トビイロウンカは特に秋口から急に増殖することがあるので、今後もほ場でのウンカ類及びコブノメイガの発生状況の把握に努め、適期防除を行いましょう。
トビイロウンカ及びコブノメイガの第2世代幼虫の防除適期は8月下旬です。
- （3）斑点米カメムシ類は多いと予想され、耕種的防除法として畔草刈りを出穂2週間前までに実施してください。
※出穂直前に畔草刈りをする、畦草に生息していたカメムシを本田へ追いやることになり逆効果となりますので、早めの畔草刈りを心掛けましょう。

◎基幹防除【出穂期防除】

| 剤型 | 薬剤名 | 対象病害虫 | 使用時期 | 散布量 |
|----|-------------------------|-----------------------------------|-------------------------|---------------|
| 粉剤 | ダブルカットバリダ トレボン粉剤 3DL | いもち病、紋枯病、 ウンカ類、カメムシ類 コブノメイガ | 穂揃い期まで | 3~4kg /10a |
| 液剤 | ダブルカットバリダ フロアブル | いもち病、紋枯病 | 穂揃い期まで | 1000 倍 |
| | キラップジョーカー フロアブル | ウンカ類、カメムシ類 コブノメイガ | 収穫 14 日前まで | 1000 倍 |
| 粒剤 | ゴウケツモンスター 粒剤 | いもち病、紋枯病、 稲こうじ、 カメムシ類、ウンカ類 | 出穂 5 日前まで 収穫 45 日前まで | 3 kg/10a |

◎補正防除【穂揃期防除】

| 剤型 | 薬剤名 | 対象病害虫 | 使用時期 | 散布量 |
|-----|-----------|----------------|------------|-----------|
| 粉剤 | キラップ粉剤DL | ウンカ類、 カメムシ類 | 収穫 14 日前まで | 3~4kg/10a |
| 液剤 | キラップフロアブル | | | 2000 倍 |
| 粒剤 | キラップ粒剤 | | | 3kg/10a |
| 粉剤 | スタークル粉剤DL | | 収穫 7 日前まで | 3kg/10a |
| 液剤 | スタークル液剤10 | | | 1000 倍 |
| 豆粒剤 | スタークル豆つぶ | | | 250g/10a |

※スタークル剤については、ミツバチへの影響を回避するため、必ず稲の開花が終了してから使用して下さい。

3. ツクシホマレ穂肥施用の目安（6月20日平坦地田植えを基準）

| | | |
|---------|-----------------|---------------|
| 第1回目の穂肥 | NK化成2号 20kg/10a | 8月14日頃 |
| 第2回目の穂肥 | NK化成2号 10kg/10a | 第1回施用から7~10日後 |